

イギリスで最も将来性のある劇作家として 話題のニック・ペイン！ 本邦初演！

「脳は我々が安定するような物語を隙間なく製造し続けているんだけど、それって突き詰めると幻覚なの。
私もなければあなたもない。自分というものは確実に存在しない。」

1955年アメリカ、プリンストン。アインシュタインを検死解剖し、その脳を持ち出した病理学者トーマス・ハーヴェイ。
1953年イギリス、バース。脳手術を受け記憶障害を起こし、神経科学の歴史を永遠に変えることとなった脳疾患患者ヘンリー。
そして現在のイギリス、ロンドン。離婚を機に全く違った人生を選択しようとしている臨床神経心理学者のマーサ。

実在の人物・事件をモチーフに、3つの異なる時代と空間が目まぐるしく展開する。
それぞれの世界で起こる脳と記憶とアイデンティティにまつわる物語——。

21人の登場人物を4人の俳優が演じます。

劇団 俳優座 No.339

インコグニート

脚本=ニック・ペイン 訳=田中壮太郎 演出=眞鍋卓嗣



安藤みどり



志村史人



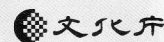
保 亜美



野々山貴之

美術=杉山 至 照明=桜井真澄(東京舞台照明)
効果=木内 拓(音映) 衣装=樋口 藍(アトリエ藍) 映像=新保瑛加
舞台監督=関 裕麻 制作=劇団俳優座制作部

助成=文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



ニック・ペイン

Nick Payne (1984-)

2009年、処女作『If There Is I Haven't Found It Yet』でジョージ・ディヴァイン賞を受賞。2012年1月にロイヤル・コート・シアターで『Constellation』を上演し、同年11月にウエストエンドに進出。イヴニング・スタンダード演劇賞最優秀戯曲賞を受賞したほか、オリヴィエ賞で最優秀新作プレイ賞を含む4つの賞にノミネートされる。2014年1月、監督のキャリア・クラックネルと共に考案した『Blurred Lines』が、ロイヤル・ナショナル・シアター(国立劇場)にて上演される。同年4月『Incognito』をライブシアターにてプレビューした後、ロンドンのプッシュシアターにて上演。2018年に公開された映画『ペロニカとの記憶』(原作はジュリアン・バーンズの小説『終わりの感覚』)の脚本も手掛けた。最新作は2019年ハドソン劇場にて上演された『A Life』(出演: ジェイク・ギレンホール)、『Constellation』は海外で多く上演されており、2015年にブロードウェイで上演されたほか、日本でも2014年に新国立劇場にて『星ノ数ホド(邦題)』が、鈴木 杏・浦井健治のキャストで上演された。

2019年
11月12日(火)～24日(日) 俳優座5階稽古場

11/	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
14:00		●	●		●	●	★			★		●	●
19:00	●			●					●				
20:00											●		

※開場は開演の30分前
受付は開演1時間前から。
★18(月)、21(木) アフタートーク

料金(全席指定・税込)

一般 5,500円/学生 3,850円/シニア席 4,800円/ハンディキャップ席 3,300円

※前売・当日ともに同額です。 ※シニア席(65歳以上)、ハンディキャップ席には数に限りがあります。

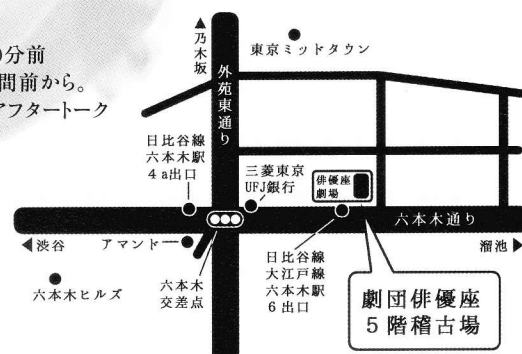
2019年9月12日(木) 前売開始

チケット取扱い

◎劇団俳優座 03-3405-4743/03-3470-2888(10:30～18:30 日・祝除く)

◎Confetti(カンフェティ) 0120-240-540 <https://www.confetti-web.com/>

お問い合わせ 劇団俳優座 03-3470-2888(10:30～18:30 日・祝除く)



〒106-0032 東京都港区六本木4-9-2-5F

▶都営地下鉄大江戸線 六本木駅 ⑥出口すぐ

▶東京メトロ日比谷線 六本木駅 ④a出口 徒歩2分